

安全保障貿易管理規制について

安全保障輸出管理規制とは、世界における通常兵器および大量破壊兵器の拡散等を防止するための日本の輸出規制で、外国為替及び外国貿易法とその関連法令等で定められた兵器に関連する物の輸出または技術の提供を行う場合は、経済産業大臣の許可が必要です。

2002年よりキャッチオール規制がさらに追加され、それまでのリスト規制(1～15項)と合わせて施行されています。キャッチオール規制には、汎用性が高く、広く民生用途として使用されている物・技術(産業製品はほぼ全て)が含まれており、核兵器や通常兵器等の開発等への使用の恐れがある場合、輸出先国によっては経済産業大臣の許可が必要となります。

表6に記載している当社製品は、キャッチオール規制の対象(16項該当)です。なお、ガラス布基材エポキシ樹脂銅張積層板およびガラス布基材エポキシ樹脂多層基板材料は、それぞれすべての品番のアンクラッド板、片面銅張板、両面銅張板、プリプレグも対象です。

当社製品・技術の規制該当非判定の情報が必要な際は、当社担当窓口にお問い合わせください。

さい。判定依頼の際、製品・技術の輸出先や用途を確認することがありますので、予めご了承ください。

なお、当社製品を使用したお客様の電子回路基板や内層回路入り多層基板材料等の製品が、規制該当である最終製品に専用部品として販売され、組み込まれる場合、規制内容によってはお客様製品も「該当製品の専用部分品」として該当することがありますので、ご注意ください。

表6 安全保障貿易管理規制該当品
輸出貿易管理令別 表第1.16項(キャッチオール規制)の規制対象品(複合材料、成型品)

安全保障貿易管理 規制該当品	品名
	ガラス布基材エポキシ樹脂銅張積層板
	ガラス布基材エポキシ樹脂多層基板材料
	ガラス布基材PPE樹脂多層基板材料
	ガラス布・ガラス不織布基材エポキシ樹脂銅張積層板
	紙基材フェノール樹脂銅張積層板
	内層回路入り多層基板材料
	フレキシブル基板材料

製品への化学物質管理について

■当社電子回路基板材料の化学物質管理の考え方

国内や海外における代表的な法律、条約等で使用が禁止あるいは制限されている化学物質、およびパナソニックグループとして使用実態を把握し適正に管理すべき化学物質が明確にされた「パナソニックグループ化学物質管理ランク指針(製品版)」をもとに、当社電子回路基板材料においても常に世の中の最新動向に基づいた化学物質管理に努めています。

また、難燃機構として臭素(Br)を用いないハロゲンフリーの製品も積極的に開発、投入することで市場のグリーン化に貢献しています。

●当社製品のハロゲンフリー含有量

当社のハロゲンフリー材料は、JPCA-ES02～06、JPCA-HCL21、IEC61249-2-21、IPC-4101等で同様に定義される以下基準に適合するものです。

物質	含有量
臭素	≤0.09wt% (≤900ppm)
塩素	≤0.09wt% (≤900ppm)
臭素+塩素	≤0.15wt% (≤1500ppm)